

令和5年度 第2回 鎌倉市観光基本計画推進委員会 会議録

日時： 令和6年(2024年)1月22日(月)13時30分～15時00分
会場： 神奈川県鎌倉水道営業所 2階会議室
出席者： 海津委員長、仲田副委員長、大津委員、阿久津委員、湯澤委員、榊原委員、北見委員、
須藤委員、中杉委員
事務局： 市民防災部 森次長兼観光課長、秋山課長補佐、箱崎係長、小嶋主事

事務局 定刻となりましたので、ただいまから鎌倉市観光基本計画推進委員会を開催いたします。
私は、本日の司会を務めさせていただきます。会議に先立ちまして、市民防災部部長の永野か
らご挨拶させていただきます。

市民防災部長 ー挨拶ー

事務局 引き続きまして、今回の会議形式ですが、一部委員については、オンラインでご出席いただきま
す。また、議事に入る前に申し上げます。委員会につきましては、鎌倉市観光基本計画推進委
員会条例施行規則第4条の規定によりまして、原則公開となり、議事録につきましても公開し
ていくこととなります。ただし、委員会の決定により非公開の決定をしたときは非公開とするこ
とができますが、会議及び会議録は公開とすることによろしいでしょうか。

委員一同 ー異議なしー

事務局 ありがとうございます。なお、傍聴の取扱いについて提案します。本委員会があらかじめ、公開
となることを想定し、事前に傍聴者の募集を行いましたところ、1名の傍聴希望者がいましたの
で、入室していただくことにします。

～傍聴者入室～

事務局 傍聴の方、大変お待たせしました。

それでは、会議を始める前に、お手元の資料を確認させていただきます。

ー資料の確認ー

お手元の資料に不備等がございましたら、お知らせいただきたいと思います。よろしいでしょ
うか。それでは、これより次第に基づいて会議を始めさせていただきます。現在6名の方がご出
席しております。委員10名中6名のご出席をいただいておりますので、鎌倉市観光基本計画
推進委員会条例施行規則第3条第2項の規定により、会議が成立しておりますことをご報告
申し上げます。それでは、会議に入ります。規則第3条第1項の規定により、委員長が議長とな
るとされていますので、委員長に進行をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

委員長 それでは進めさせていただきます。次第の2(1)第4期鎌倉市観光基本計画について、事務局から説明をお願いします。

事務局 ー資料 | 説明ー

委員長 はい、ご説明ありがとうございました。委員の方、順番にご意見をお願いします。

委員 いよいよ新基本計画策定となってきて世の中の流れもすごく変わってきたりとか課題もどんどん変わってくると思います。世間的にはやはり鎌倉市と言えば「観光」のイメージがすごく強いというのが私の肌感覚としてはあるので、すごくこれって意義あることなんじゃないのかなと思っております。仏教会としても引き続きお声をかけていただければ、ご意見を汲んでいただいたら大変ありがたいなと思っております。私から個人的には、会議を開くとき色々無理を言って、たまにはお寺でやってみたらと言ってお寺で会議開催していただいたりしました。何かちょっと目先も変わって楽しかったのかなと思いますし、鎌倉市さんが持っている観光資源の中にも例えば華頂宮邸とかそういったところでですね、会議するとそれだけでもちょっと話題になったりするのかなと思います。市役所の会議室はとっても良いところなんですけれども、また違った目線でお話ができたりですね、ちょっといいアイデアがでたりすると思うので。市の持っている場所でも結構ですし、あそこのお寺のどここの部屋でやりたいなということがございましたら、委員になるなら関わらずお声がけいただければ尽力いたしますので何卒お気兼ねなくお声がけくださいませ。本日はありがとうございました。

委員 私も途中からというかたちにはなるんですが、全体像を把握しつつあるところで、少し感じたことはやはり鎌倉市の一部の所しか見てないかなという気はいたしました。海浜だったりとか、大船であったりとか、特にオーバーツーリズムを解消するには素敵な場所があるにもかかわらず、そこは拾われていないのかな。その辺の声も拾っていただけらなと思っています。

委員長 ありがとうございます。鎌倉のどこを対象とするのかということですね。

委員 そうです。

委員長 ありがとうございます。ご意見いただいた上で地元からコメントいただけるようにしたいと思います。

委員 今回いただいた新たな基本計画策定のスケジュールは気になることはありませんでした。私も6年間参加させていただきありがとうございました。この数年間ですごい変化がありまして、長谷もものすごく環境が変わっているようなイメージがあります。色々とお話できることがあれば、伝えていければと思いますので引き続きよろしく願いいたします。

委員 質問なんですけれど委託業者を決める時にもうプロポーザルはしているのでしょうか。

事務局 これからです。

委員 仕様書をもう確定をしたということですよ。それはどんな風に作られたのかな？というのが、やはり委託業者を決める時にどんな仕様になっているのかということとそれがちょっと気になるかなど。何を重きに置いてこの仕様書というのは作られているのか、そのあたりをご教授いただけたらと言う質問でございます。質問でもいいんですよ？

委員長 はい、ご質問等大丈夫です。一通り御受けしてからお応えを頂こうと思いますので。質問以外には何かありますか。

委員 オーバーツーリズムっていうのが、多分もう否応なく鎌倉という土地柄、今、沖縄と京都と、あと鎌倉と、まあ北海道の美瑛地区みたいなところを取り上げられている中で、オーバーツーリズムっていうものに対してどうやって向き合っていくのか、鎌倉の大きな課題になっているところであって、そこは私たちも連携しながら取り組んでまいりたいと思っております。

委員等 ありがとうございます。

委員 やはり鎌倉の観光の課題と言えばオーバーツーリズムとやはり観光消費額をいかにあげるかと、それに付随して昨年度大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」を経て、やはり、あのまだまだ観光資源の発掘の可能性はあるのかな、という風に思っております。このようなことも頭に入れながら今後の基本計画に役立てていけたらいいのかなという風に思っております。以上です。

委員長 はい、ありがとうございました。

委員 どうしてもオーバーツーリズムということで、時間帯を分散させるとか地域を拡大して分散させるかとかということとを少し、一極集中よりは広くその周りを時間をかけて周るということができるとなればと思います。

委員長 はい、ありがとうございました。順番に答えていただいたので、論点をしぼれたのかなと思います。ここまでご意見、ご質問いただいたところに対して市の方からお答えいただければと思います。

事務局 ご意見ありがとうございました。皆様大変長く第3期観光基本計画の委員をお勤めいただいている方が多く、本当に長い間ありがとうございます。第3期の振り返りということで、あと、第4期の会議室のご提案ですとか、地域の範囲、市域をあまねく対象とした方が良くということととか、オーバーツーリズムについてもご提言いただきまして、来期第4期の計画に生かしていきたいと思っております。ご質問いただいていた仕様書で何を重きに置いたかということでご質問いただいた件ですが、前回の会議のときに一度仕様書をご提示させていただいており、そこから大き

く変わってはいないんですけども、やはり第3期の計画ではデータの分析が、ほとんど旧来のアンケート調査のようなことを根拠としてやっておりましたので、今だいぶ10年間で技術も発展しておりまして様々スマートフォンのキャリアですとか、クレジットカードですとか様々なビッグデータが出てきておりますので、そういったデータをきちんと取得して、分析をして、根拠がきちんとある計画としたいと思っておりますので、データ分析に係るところに重きを置いておるところです。

委員長 はい、ありがとうございます。これまで、ちょっとあの統計データが弱いといわれていたところを強化しようというところが一番のポイントになるのだらうと思います。他にご質問いただいていたところは、課題を色々としていただいたというところだと思います。もう一つは楽しい会議の持ち方ということだと思いますけれども、合計10回ほど来年、再来年あるので、次の期の委員にはぜひ楽しく進めていただきたいという、重要な環境のご提案だったと思います。また鎌倉をどこまでとらえるのかということ、駅周辺だけでいいのかということですよ。

委員 神社仏閣がここまで保存されているのは、先人たちの遺産だと思う。我々は新しい所をどんどん発掘して、うまくいくとこいかないとこあるでしょうけど、見えてないところにこそ価値があるのではないかと。

委員長 はい、ありがとうございます。大河ドラマを通じた新しい観光資源のこともお話しいただいておりますので、その辺視野に入れていくと確かに鎌倉の捉え方も次の時にはもうちょっと見直しをして、進めていければと思います。それは時間分散とか地域分散とつながっていくのかなと思いましたが、ご指摘は全てつながっていることかなと感じました。ありがとうございます。

委員長 オンライン参加の委員は聞こえますか。資料1を送っていただいたと思いますので、これについて何か質問等ございましたらチャットで送信してください。それでは、続きまして資料2について、事務局から説明をお願いします。

事務局 ー資料2・3説明ー

委員長 ご説明ありがとうございました。資料2・3と2つ続けて今年度の推進委員への確認ということで情報提供いただきました。何か質問等ございましたらお願いいたします。

委員 はい、オーバーツーリズムという言葉よく聞きますし、対策はなかなかほんとこれ難しいんだらうなと思って、混みやすいという特徴がある、それが特徴的な鎌倉であって、混まないように一生懸命オーバーツーリズム対策に励むと、人口が減ってきていつの間にか誰も来なくなっちゃうんじゃないかというのがあって、この対策は鎌倉市の特徴的に単位面積当たりの観光客が多いということで、混んでるといのが鎌倉の特徴の一つなんだよってぐらいの感じとっています。肌感覚としては、すごくむらがあるので、混んでいる時はものすごく混んでいるんですけども、そうじゃない時、今日も比較的静かなところですよ。対策を進めてちょっと困る方が大きいかなと、思っています。

委員 もちろんその地域に住んでいる方にとっては大変な問題だと思いますが、エリア、鎌倉市全体としてみたときにあまりこればかりやっているとまずいかな、と。むしろ 来る人にどう満足していただくかどうかを考えていくのがいいのかなと。鎌倉市民も知らないような、鎌倉市の魅力のあるところはたくさんあるので、そういうところを開拓して行って、知っていただくっていうのがいいのかなとは思っています。なんかこう、オーバーツーリズムを解決しなきゃって思ってやるよりは、せっかくここまで人に来ていただいているんだったら、どうしようかっていう風な積極的な対策をしていただくとうろしいかなと思っております。

委員 そうですね、オーバーツーリズムは皆さんが議論されていていろんな方が対策をしていて、そうそう簡単には解決しないと思います。鎌高前は、やれる対策はもうしているようにも見受けられます。交通整理の方が立っていらっしゃるし、かなり注意されていて、それでもまあ人が集まってしまふというところは、今のところできることはやっているのかなと。ただ、確かに、事業者の立場でいうと、6月と8月の客数は4倍の差がある。そうすると場所によりますが、6月にものすごく売り上げが上がります。6月にそれだけお客さんきてくれるというのはありがたいことなのですが、その時に、ツイッターを検索してたんですが、鎌倉混んでるからやめようよというのが結構あった。でどうしたらいいかっていうのはそこはまだ知恵がないのですが、中期的にはもう他のとこに行こうよというコメントができかねないので、それは危機感を持ってやっていきたいなと考えています。以上です。

委員 オーバーツーリズム、これ数年前から私たちも話していて、有効な手立てがない、やれることはみんなやってる、ということですけども、鎌倉高校のところは、私は時期的だとか、期間的な問題じゃないかと思っています。「冬のソナタ」でもものすごく混んでそこに店がたくさんできたんですけども今は閑古鳥で商売に困っている、そんな状態で、ですから鎌倉高校の問題も、まあ その時期だけを何とかしてやり抜く政策を考えたらいいのではないかなと思います。あとオーバーツーリズムで少しメンションしていきたいと。研究しておきたいのが、先週、京都に行ってたんですけど、町の中がですね、日本語が聞こえないくらいなんです。ものすごい外国人の人たちなんですけど、やっぱりその、旅の恥は掻き捨てみたいなのが、日本だけじゃなくてあるんですね。大きな声とかですね、やっぱりその、京都の持つ文化的な空気の良さっていうのがですね、なくなってるなというのがすごく悲しく感じました。毎年行っている者としてはですね。鎌倉もその辺のところを考えながらやらないとならないのかな、と。あとは解決策の一つで制限っていうのを色んなところでやってるわけなんですけれども、入ってくる人間を制限するのはなかなか難しいので、料金を取っても予約制をもっと充実してしっかりした観光を提供していくという方向でいったらいいんじゃないのかな。

委員長 ありがとうございます。

委員 オーバーツーリズムが問題となっておりますけれども、個人個人、それぞれの事業が、やっぱりたくさん来てもらうということでそれぞれ動いていると思います。それが形になっているのが鎌倉

であって、なので、こういう中で、この時期ちょっと辛抱して頑張りたいから色々な事業者さんとかにこの時期何かないですかね、とか、そういった感じで、ひとつひとつの神社だったりお寺だったりではちょっと限界があるというのを何とかそういったまとめてもらうという、うまくそういったところを仲介してもらう形がとれればいいのかなどという風に思います。

委員長 ありがとうございます。

委員 長谷の地域ですが、本当にあのもう外国人の声しか聞こえない。江ノ電にもかなりいる。ただ午後5時以降になるともう誰も歩いていない状況になります。かと思いきやこの間の週末は全然江ノ電ガラガラの状態で、あれ、週末なのにな、と感じたりとか。実際私は在宅で仕事をしているんですが、仕事は都内なので、よくあるのは、天気が良かったので週末鎌倉に行っていたよなんていう感じであまり計画を立てなくてもやはり行きやすい場所、日帰り雨降ったらやめることもできる。そういう環境なんだなって。自分の体験としては、昨年コロナが落ち着いたので海外旅行を自分も再開してまして、やはり鎌倉って話が出ると、ものすごくスラムダンク、大仏、あとやはりよく撮影でみられるような場所というものがあがってきます。ホームページなんかでみるみたいなので、何かうまく分散できるような魅力を別の形で伝えられたらいいのかなと感じています。

委員 先ほどオーバーツーリズムに対してどう向き合うかというお話をしたんですけれども地域ごとにやっぱり、オーバーツーリズムって違うと思っていて、ただ一概にそのオーバーツーリズムといっても何から手をつければいいのか、どうすればいいのかってなかなか見えないので、鎌倉にとって好まざる状態がどういうことなのかというところを、次の時には明確にする。オーバーツーリズムとは人が来てにぎわっている状態が一方にあって、それって望むべき状態じゃないですか、それを排除するっていうことはないわけで、私達もよくご質問をいただくのですが“鎌倉はオーバーツーリズムですか”と聞かれると、今の立場としては、オーバーツーリズムではありません。まだまだ来ていただきたいんです。ただマナーの問題なんです。マナーをきちっと守っていただければ鎌倉は十分楽しめる要素がまだまだあるし、まだまだきていただいたいというのが、鎌倉の基本的スタンスです、という風に、外からの問い合わせにはそんな風な形でこたえています。どういう状態がやっぱり好まざる状態なのかというところを明らかにして、対策を立てるところが多分重要なんだろうなと思います。

委員 観光業、サービス業はコロナとか外部要因に弱いというか影響を受けやすいと一般に言われていますが、SNSの発信、江の島にたくさん人来てますよ、江ノ電が混んでいるよというだけでお客さんが遠のいたり、1月1日の地震があれば、2日、3日はお客様が減った。非常に外部要因に左右されるのが観光業なんではないかと。その点を十分注意するのが一つ、新しい観光資源の発掘という観点からいうと朝夷奈切通とか、鎌倉からわずか1時間で、こんなところがあるんだという感動を与えるという風に私は思っている。大河ドラマがあって、万葉集の中に鎌倉がいくつかうたわれているんですよ。まだまだ知られていない鎌倉の魅力がたくさんあると思いますし、そういったところからまた新たな観光資源を発掘するのも十分可能だと思いますのでこ

の辺も鎌倉の可能性だと思っていますから、もっと充実させればいいのではないかと考えています。

委員 オーバーツーリズムに関して、この会議に携わっていたころから、やはりコロナがあってひとつはさんでからの変化が著しく感じられていて、小町・駅周辺もそうなんです、明らかに観光層が変わりました。海外の方も増えているんですが、前のように中国人の団体というよりお金を持った個人客、欧米の団体も含めて、先程も議題にあったスラムダUNKの効果もあって鎌高前とか、正直言って今始まったわけではなくてアニメ云々の影響というよりそれが世界的に文化になってしまったということが問題になっていると思います。ブームが去ったからアニメがどうなったというところも、先程委員が言ったようにピークがおさまると少し変わってくるともちろそうなんです、残念ながら、ブームは繰り返し起きるし、もともとあの場所自体は、ロケーション、撮影の現場で使われやすい、加えて世界的にレジェンドになる舞台になってしまう。これは変えようがないことだし、別に変えることではないと思う。

では何が問題かと、鎌高前だけではなく、全体を通して交通の流れが大変よくないと、車のカーナビででる抜け道、裏道、小町の裏、横道もすごく大きい車しか通らなくなって、それが正直歩行者を邪魔してしまったり、交通の乱れを作っている。うちの周りもほとんど建物が売約になり、必ず一度駐車場になります。駐車場の需要が激しすぎる、あとはオーバーツーリズムとかお客さん層を狙って駐車場の平地または団体向けだったりメディア向けの商売するために企業に転売する人達がとても増えている。早急な工事をするため、業者が素行の良くない人たちを使い、大きなトラックだとかを飛ばしてくるひが増えてしまうせいで、普通の街並みを走るマナーがすごく悪い。オーバーツーリズムにあたって、パーク&ライドだったりとか、あと自転車の乗り捨てのような形で取り組んでいると思うんですけど、この自転車のレンタル、かなり問題がありまして、家の前に停められてしまうとうどうにもならないんですけど、みんなどっかに停めればいいやと思っているんなところに停めて、住宅の前もそうですしここに一度置いておけばいいという形でやってしまう人達が増えてしまう。あとは電車に関しても鎌高前なんかは、江ノ電さんも整備をしたり警備を置いたり、やれることはかなりやっらっしゃる。全体なんですよね。結局その車の流れもそうですし、鎌倉という土地自体が元々車がとても抜けにくい立地、それがこの鎌倉という土地なんでここに寺院を置いたというのは囲まれているからです。だからこそ鎌倉の武家が栄えたわけであって、元々観光だったり、車の向いているような場所ではないのです。それがなぜが商業的などころで栄えてしまったので、車だったりオーバーツーリズムの問題がどうしようもないというのは永久に変わらなくなってしまうと思うんですね。この間 JR で、グリーン車に乗ったんです。鎌倉駅で待っているとき、駅員さんがいるんですけど、明らかに外国人が全員、グリーン車とわかってないから並んでたんですね。でも、誰も説明しないの。で、迷っている人がいたので、片言の英語でここは最初にリザーベーションしないとだめか、又はお金を払わないと座れないところだよって言ったらその外国人の方は、とても雰囲気いい方だったので、間違えちゃった、ごめんね、ありがどうって言ってくださったんですけど、他の観光客の方は、わからないので、そのまま居座っちゃうんですよ。それもちゃんとアナウンスができてない、わからないから座っちゃうのは仕方ないことだと思いますね。海外の方たちに向けて、喫煙の、日本におけるルールというのを、鎌倉では警察に行かないといけない大きな問題なので、最近、路上で喫

煙してそのままポイ捨てとか、海外の方も増えてしまったんですね。禁煙のマークも貼られていないので、海外の方は全然わかってないです。そういうところも含めて、全体的にマナーの改善もお願いしたいです。

委員長 はい、ありがとうございました。オーバーツーリズムのことは、皆さんそれぞれの思いがたくさんあって、お話をうかがっている話題もいっぱいあると思いますけれども、ちょっとそのあたりも含めて、来年度からの課題にまわさせていただければと思います。ただ、一様にみなさん共通したのは、人が来ていただけるということは、基本はありがたいことであって、迷惑ということではない、そこをコントロールしているかというところが難しい面がある。そこをどういう風に誘導していったらいいだろうかというところですね。そこには資源の開発もあるだろうし、今現場で起きている課題を丁寧に探っていくと、もうちょっと優劣もついていくところがあるのかなと。コメントありがとうございました。このあたり、横浜市立大学の調査も踏まえて見えてくるのかなと思います。では、(2)その他というところで、説明をお願いします。

事務局 —その他資料説明—

委員長 ありがとうございました。今日の夕方のシンポジウム、もし余裕がありましたら、ご参加いただければと思います。では、ここまで、時間を急がしつつコメントいただきましたので、言い足りないことがある方、いらっしゃいますでしょうか。

委員 言いかけたのはですね、情報発信というのはやっぱりすごく大事で、確認が取れてない中で申し訳ないんですけども、元旦にあのような災害が起きました。多くの外国人の方もいらっしゃった。でも、この2日、3日には、きれいに次の目的地に移動されて、避難所に滞留するというものではなかった。もちろん避難所にいる方もいると思いますが、避難所にいる外国人の方の対応をどうしたのかというのが、私はものすごく心配で、報道にもなく一体どうしたんだろうとすごく不思議だった。今は避難所で、外国人の方が翻訳アプリなどを使いながら自分で情報をとって動いているようです。やはり情報をタイムリーにだせる仕組みを作ることが重要。今、箱根で自治体マップを実験チームでやっているの、また結果が出てくると思うんですけど、駐車場は今どこが混んでいるのか、お店はどこが混んでいるのか、空いているのか、ということがリアルタイムで出てくるので同じ県内で参考になるのではと。繰り返しになるが、情報発信をどうやってやっていくのが次の計画の中でも必要なのかな。私たちが思っている以上に外国の方は情報を自らとって動いていることが分かったため、お伝えしました。

委員長 ありがとうございました。市民防災部の中に観光課があるという意味合いが鎌倉にとって非常に大きいということなんだと思います。ほかに何かありますか。

委員 前回の会議の議事録を読んでいくと、そのなかに観光はだれのために存在するのか。非常に大きな投げかけがあったんです。今回、横浜市立大学の調査の結果をすごく楽しみにしていた。鎌倉市民は観光客が伸びるのを歓迎しているのか、あるいは減少させたいのか、根本的なところ

を市民がどう考えているのか。その結論が早く欲しいなと思いました。情報の発信は非常に大切なことで、以前と比べると SNS が非常に発達してきた。鎌倉のウェブサイトでマナーの呼びかけなどを前面に出して情報発信しているのではないかと。単なる観光の発信だけでなくこういう鎌倉にしたい、私たちこういう風にしたい、ということを書いていいんじゃないか。外国人は公共交通機関でくるんですよね。交通機関にご協力いただいて、鎌倉にくるお客さんにマナーの徹底を呼び掛けるような映像などをお願いしてはどうかと。交通機関は重要ですので、ぜひお願いしたい。

委員長 ありがとうございます。今年度までで我々の任期が終了となりますので、皆様から一言ずつコメントいただければと思います。

委員 皆様の意見を聞くと、中々普段わからないことが経験できて、また自分としても鎌倉市はどんなところなのかと考えるいい機会になりました。様々なデータなども拝見させていただき、自分の仲間とも情報共有ができて感謝しています。私は今後も鎌倉にいるはずですので、またなにかの機会にご一緒できたらと思っています。本日はありがとうございました。

委員 私は途中から引継いでの参加でしたが、オーバーツーリズムは参加前から興味がありまして、鎌倉に滞留しているお客さんが夜はいなくなる、もっと時間的な流動性を持ったほうがいいだろうと考えています。この委員会に短期間ですが参加させていただいて、大変大きな知見を得ましたので地元の活動に生かしていきたいです。

委員 長くこの委員に関わり、ものすごく勉強になりました。今、世界のツーリズムの問題が鎌倉にあるという感じがします。毎回ためになりました。基本は、住んでいる方と訪れる方のバランスを修正していく必要があるのだけれど、あえて言いますと、国の動きはちょっと遅いですね。今年度企画して、次年度に予算を取って、再来年度に活動する。こんなに状況が変わっている世界で、2年間空洞ができてしまう。なんとかスピードアップしていかないとならないのかなど。それを解決するのが DMO。毎回 DMO の話をしているんですけど、やっぱりビジネスとして DMO を早く立ち上げたほうが私はいいいと思います。

委員 ありがとうございます。中にいると見えてこないことがこの会議でよくわかりました。今後も鎌倉におりますのでよろしくお願いいたします。

委員 ありがとうございます。なかなかこの会議もコロナもあって進まないこともあったのですが、皆さんの話を聞いて、住んでいる地域としてもものすごく興味があって、私も資料を会議の前にも見るんですけど、会議の終わった後に見ると、すごくついていけるというかすっきりしていました。資料を作るのも大変だと思うのですが、市民のためにありがとうございました。

委員 一人でも多くの人に鎌倉に来てほしいし、鎌倉を楽しんでもらいたいというのは本当に思いとしてあって、ややもするとオーバーツーリズムというところが前にでていきますけれども、基本的には

どうやって鎌倉を楽しんでもらうかというところを念頭に次の計画を進めていただいたらいいと思う。特に最大の課題については、日本という国は、こういう楽しみ方をするんですよ、これがマナーなんですよ、ということを積極的にこの鎌倉の地が発信していてもいいかな。それができれば本当にいい鎌倉の取組だと言えると思う。ひいては、日本のスタンダードとして宣伝できたらいいなと思いながら参加をいたしました。ありがとうございました。

委員 お世話になりました。ありがとうございました。

観光基本計画に携わるということの重責を担って会議に出て、いろいろ知見を高められたことが、私の荣誉であり誇りでございました。本当にお世話になりありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

委員 これまでなかなか力添えをできないままになってしまっているんですけども、こうして携わらせていただいたことを感謝しております。皆様にお会いできたことが一番自分の中でも宝物だと思っています。やれることはやっていきたいと思っていますので、また皆さんにお目にかかれるのを楽しみにしています。

委員長 ありがとうございました。皆さんからコメントいただきました。本当に長い時間、皆さんありがとうございました。途中コロナがあつたりもしましたけれども、鎌倉の魅力をより感じつつ、そして鎌倉から観光の文化が発信できるような、そんな街にしていければなと思っています。どうもありがとうございました。では、事務局に進行をお渡ししたいと思います。

事務局 委員長、スムーズな司会進行ありがとうございました。皆様におかれましては、鎌倉への熱い思いや鎌倉の観光対策の是非について検討していただき、誠にありがとうございました。委員の皆様は、任期が今年3月31日をもって終了となります。令和6年度に入りまして、4月1日以降、継続してお願いする方につきましては、後日個別に調整させていただくとともに、所属団体様への推薦依頼書の方をご送付させていただきますのでよろしくお願いいたします。また、次回の観光基本計画策定委員会の日取りでございますが、新しいメンバーが確定しましたら調整したいと思っていますので引き続きよろしくお願いいたします。本日、皆様におかれましては長時間に渡り、ご意見、ご質問をたくさんいただきまして、誠にありがとうございました。以上を持ちまして、鎌倉市観光基本計画推進委員会終了させていただきます。ありがとうございました。